

## 【議事録】第22回（令和7年度第1回）鳥取県救急搬送高度化推進協議会

令和7年11月25日

鳥取県救急搬送高度化推進協議会事務局

- 1 開催日時 令和7年9月17日（水）午後6時から午後6時50分まで
- 2 開催方法 オンライン（Cisco Webex Meetings）
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
- 4 議事録

### 1 開会

＜事務局（黒見消防防災課長）＞

これより第22回（令和7年度第1回）鳥取県救急搬送高度化推進協議会を開催いたします。

私は、本協議会事務局の消防防災課の課長をしております黒見と申します。本日、会長を選出し、会長に議事の進行をお願いするまでの間、私が進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

説明に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。委員の皆様には事前に資料を送付させていただいております。

（資料の確認部分省略）

### 2 本協議会の概要説明

＜事務局（黒見消防防災課長）＞

今回新たに就任していただいた委員の方がおられますので、まず最初に本協議会の概要についてご説明させていただきます。

説明は、事務局の消防防災課の谷岡の方からさせていただきます。

＜事務局（谷岡消防防災課係長）＞

消防防災課の谷岡と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、資料1「鳥取県救急搬送高度化推進協議会の概要について」から説明させていただきます。

（以下、資料1から資料4までの説明を行う。議事録は省略）

### 3 委員紹介

＜事務局（黒見消防防災課長）＞

続きまして、委員の皆様方をご紹介させていただきます。

資料の本協議会の出席者名簿をご覧ください。私の方でお一方ずつお名前を紹介させていただきますので、ご出席の委員の方はマイクをオンにして一言いただければと思います。

（委員名簿の順に沿って、委員を紹介）

それではこれより議事に移らせていただきます。議事を始めます前に、本日の協議会には、委員15名中、11名（※）のご出席をいただいておりますので、鳥取県救急搬送高度化推進協議会運営要領第3条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

また、本日の議事録ですが、委員の皆様にご確認いただきまして、ご確認いただいたものを鳥取県の公式ホームページに掲載させていただきますので、ご承知くださいますようお願いいたします。

（※）その後、宇奈手委員と前角委員が出席（オンラインミーティングへの参加）し、13名の出席となる。

#### 4 会長・副会長選出

<事務局（黒見消防防災課長）>

始めに、本協議会の会長と副会長の選出をさせていただきます。本協議会運営要領第2条第5項の規定により、会長は協議会委員の互選により選出し、副会長は会長が指名すると定められております。

まずは会長を選出したいと思いますが、事務局といたしましては、昨年度に引き続き、鳥取大学医学部附属病院の上田先生にお願いできればと思っておりますが、いかがでしょうか。

（委員からの意見なし）

委員の皆様にご異議等ないようで、ご賛同いただけるようでしたら、カメラの前で挙手をお願いできればと思います。

カメラがオンになってない方もおられるようでして、ご異議がある方はご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

（オンラインミーティングのモニター上で挙手を確認する）

8名の挙手を確認し、特にご異議もないようですので、賛成多数で、会長は上田先生にお願いしたいと思います。上田先生、ご了承いただけますでしょうか。

<上田委員（鳥取大学医学部附属病院）>

よろしくお願いします。

<事務局（黒見消防防災課長）>

ありがとうございます。上田先生、引き続き会長としてよろしくお願いいたします。

次に、副会長2名の選出ですが、副会長は会長が指名することとなっております。当協議会の過去の選任の例を参考にいたしますと、会長と2名の副会長は東中西の各地区から選出させていただきますが、上田会長、ご指名はございますでしょうか。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

本日ご欠席のようですが。東部地区の鳥取赤十字病院の齊藤先生と中部地区のうなてクリニックの宇奈手先生にお願いしたいと思っていますがいかがでしょうか。

<事務局（黒見消防防災課長）>

本日、齊藤先生と宇奈手先生とも欠席でございますが、事前にご意向を伺ったところ、就任の方に前向きでくださっておりまして、改めまして、事務局の方で両名に後日、ご本人にご意向を確認させていただき、委員の皆様にご報告をさせていただきたいと思えます。

その方向でよろしいでしょうか。ご異議等ございましたら、委員の皆様の方からご意見をいただければと思います。

（委員からの意見なし）

特にご異議等ないようですので、副会長として、鳥取赤十字病院の齊藤先生、うなてクリニックの宇奈手先生を任命する方向でご確認（※）をさせていただきたいと思えます。

（※） 齊藤委員から、令和7年9月18日に電話で就任の承諾を得る。

途中出席された宇奈手委員から、次第7その他の際に就任の承諾を得る。

そうしましたら、会長に御就任いただきました上田会長からご挨拶をいただければと思います。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

今年度も会長をさせていただきます。建設的かつ発展的な議論ができる場にしたいと思いますので、よろしくお願いします。

<事務局（黒見消防防災課長）>

ありがとうございました。この後の議事の進行は上田会長にお願いしたいと思います。上田会長、よろしくお願いいたします。

## 5 協議事項

### （1）鳥取県救急活動プロトコルに係る令和6年度継続検討事項について

※事務局（谷岡消防防災課課係長）より資料5のとおり説明。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

事務局から説明がありましたが、この検討事項についてご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

救急現場での除細動の回数が2回か3回かというところで去年議論が出まして、エビデンスを色々調べたのですが、どちらがいい、どちらが優れているというエビデンスはない。ただ、病院からかなり離れている過疎地と、あるいは三次救急まで時間がかかるよう

な地域を鑑みると、やはり2回の包括的というよりも、効果が一緒であれば3回の方がいいのではないかという形で、現行通り3回ということにしたいと思いますが、ご意見、もし反対意見があればこのまま挙手の方お願いできますでしょうか。

(委員からの意見なし)

ご意見がなければ、このまま事務局の案の通りに進めさせていただくという形でお願いしたいと思います。

## (2) 救急救命士の特定行為に係る各種実習要領の改訂について

※事務局（谷岡消防防災課係長）より資料6のとおり説明。

＜上田会長（鳥取大学医学部附属病院）＞

事務局から、救急救命士の特定行為に関わる各種実習要領の改訂について、事務局案が示されました。

1の方ですが、他県から転居した場合、同じ救命士として特定行為ができるか、今までそのような文言がなかったということで、このような事案があった時に迅速に対応できるよう改訂させていただきたいという内容になります。

これに関しても、反対意見がございましたら手を挙げていただけますでしょうか。あるいはご意見はありませんか。

(委員からの意見なし)

そうしましたら、過半数以上の賛成のため、資料6の事務局案の通り進めさせていただきたいと思います。

## (3) 消防ワーキンググループの開催について

※事務局（谷岡消防防災課係長）より資料7のとおり説明。

＜上田会長（鳥取大学医学部附属病院）＞

事務局からは、消防ワーキンググループの開催についての提案がありました。

これについては、脳卒中の方は、昨今、血栓回収療法で劇的な予後が改善するという治療が加わってきて、それにより搬送する医療機関をある程度定めるという形でプロトコルが作成され、4月1日から新たなルールになったというものです。

それからもう1つは、人生の最終段階、要するに終末期医療に蘇生等の治療を希望されない場合の意思表示に関するプロトコルというのはありませんでしたので、ワーキンググループを立ち上げてそのプロトコルを作成し、これを4月1日から施行しているというものです。

ただし、やはり新しいプロトコルを作ったり変更しますと、それが全ていいわけでもなくて、問題点があるかもしれませんので、それを評価するためにワーキンググループを作

りたいというような内容になります。

この件に関して質問はございますでしょうか。

<山崎委員（山崎整形外科クリニック）>

よろしいでしょうか。県医師会の山崎です。

DNAR 事例のことですが、これからプロトコルが広がっていったらいいと思うんですけども、これまでの件数で、西部は事例があるようですが、東部や中部でこの心肺蘇生の希望なしという方が極端に少ないような印象がありますが、このばらつきは何か原因があるのでしょうか。

<事務局（谷岡消防防災課係長）>

確かに東部、中部の件数に比べて西部が比較的多いといったところをこちらも資料作成にあたり認識いたしましたが、その理由は事務局の方ではまだ確認をしておりません。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

今回、よだか診療所の前角先生も入っておられますが、西部に関しては、在宅診療に関して、かなり熱心に医師会を中心に在宅治療や在宅看取りというものが進められています。そういうところが1つ進んでいる理由ではないかなというふうに考えております。

また、これに関しては医師会さんを通じてですね、東部、中部、西部で啓蒙がある程度必要だと思いますので、もし可能であれば啓蒙活動をしていただければと思います。

ちなみに、11月8日、西部地区での医療イベントにおいてですね、このDNARに関しても、一般市民向けに説明をする予定にしております。

<山崎委員（山崎整形外科クリニック）>

わかりました。啓蒙の方を進めていきたいと思ひますし、西部地区で上田先生には色々ご指導いただいています。いつもありがとうございます。引き続きよろしくお願いしします。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

よろしくお願いします。

それでは、この議案に関しては、反対意見がありましたら挙手をお願いいたします。

（委員の挙手なし）

反対意見は無いようですので、事務局案の方で進めさせていただきたいと思ひます。

#### （４）その他

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

続いて、協議事項（４）その他ですが、事務局からありますでしょうか。

<事務局（谷岡消防防災課係長）>

事務局から用意したその他協議事項はありません。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

その他に、ご出席されている委員の方からご発言ございますでしょうか。

<佐々木委員（鳥取県東部広域行政管理組合消防局）>

よろしいでしょうか。東部消防局警防課の佐々木です。

ご提案というか確認事項ですが、協議事項（２）のところにありました、資料６－３ですが、県立中央病院の実習指導医師に変更をしないといけませんので、また県立中央病院の方に選出をしていただく形を取らせていただきます。ここが変更するということをご了承いただきたいなと思って発言させていただきました。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

ありがとうございます。事務局の方はそれで大丈夫でしょうか。

<事務局（谷岡消防防災課係長）>

はい。その変更は東部消防局の方で動いていただけるということでよろしいですか。

<佐々木委員（鳥取県東部広域行政管理組合消防局）>

はい。早急に中央病院の方に依頼の方を出そうと思います。

<上田会長（鳥取大学医学部附属病院）>

ありがとうございます。東部の県立中央病院の方には、１０月以降、鳥大病院の方からも非常勤の支援を送る予定になっておりますので、何卒よろしくお願いします。

他にございませんか。

ご意見はないようですので、次の報告事項に移りたいと思います。

## 6 報告事項

### ・「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準」に基づく救急搬送の実施状況について

<事務局（谷岡消防防災課係長）>

資料８をご確認ください。説明は概略とさせていただきます。

鳥取県の搬送及び受入れに関する実施基準につきましては、この会の始めに概要を説明しました通り、傷病者の症状等に基づく分類基準とそれに対応できる医療機関リストのほか、傷病者の観察基準、搬送先医療機関の選定基準、医療機関に対して傷病者の状況を伝達するための伝達基準などを定めていることを説明いたしました。

資料８－１の方には、これらの搬送実施基準に基づく救急搬送状況について、令和３年から令和６年までの実績を記載しておりますので、分類区分ごとの搬送状況を表１から１

ー 3 まで県内全体と各消防局ごとに記載しておりますので、詳細につきましてはまたご確認をお願いいたします。

次に、資料 8－2 をご確認ください。医療機関への照会回数の状況を説明いたします。

令和 5 年中の救急搬送における医療機関の受入れの照会を行った件数とその割合について、県内の状況をお知らせするものです。なお、この調査の対象は、重症以上傷病者搬送、産科周産期傷病者搬送、小児傷病者搬送及び救命救急センター搬送の 4 事案が対象となっております。

県内の消防局が令和 5 年中に実施した本 4 事案にかかる 8, 847 件の救急搬送における照会状況を見ますと、いずれの事案とも 96 パーセント以上が照会 3 回以内で搬送先の医療機関が決定しております。なお、医療機関への最多照会回数は 11 回でした。

参考までに中国地方の他県の状況をお伝えしますと、中国地方の最多は広島県で、33 回の照会回数、これは救命救急センター事案となっております。次いで岡山県の 24 回、同じく救命救急センター搬送事案というような結果が出ておりました。

簡単ではございますが、説明は以上です。

< 上田会長（鳥取大学医学部附属病院） >

ありがとうございます。事務局から救急搬送の実施状況について説明がありました。

鳥取県は、非常に救急搬送に対する救急隊の努力と各医療機関のご尽力のおかげで、たらい回しというのが比較的他地域より少ないということが維持できているというのが現状です。

何かご意見がありましたら手を挙げていただければと思います。

（委員からの意見なし）

大丈夫でしょうか。ご意見がなければ、本日予定していた協議事項、報告事項は全て終了になります。議事を終了したいと思いますので、事務局の方にお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

## 7 その他

### ・ 途中出席の委員の紹介等

< 事務局（黒見消防防災課長） >

うなてクリニック院長の宇奈手委員がミーティングにご参加いただいたようです。

宇奈手委員、一言お願いできればと思います。合わせまして、副会長の方にもご指名させていただいておりまして、お引き受けいただけるかどうかをお話いただければと思います。

< 宇奈手委員（うなてクリニック） >

遅れまして申し訳ありませんでした。

うなてクリニックの宇奈手です。副会長の方、至らぬところあるかと思いますが、引

き受けさせていただきます。

よろしくお願いします。

<事務局（黒見消防防災課長）>

よろしくお願いします。ありがとうございました。

よだか診療所の前角先生もミーティングの方ご参加いただいております。

前角委員、一言ご挨拶いただければと思います。

<前角委員（よだか診療所）>

お疲れ様です。遅刻してしまいまして、大変失礼いたしました。

よろしくお願いします。何もわからないのですが、お役に立てればと思って頑張りますので、何かありましたら何でも言ってやってください。

よろしくお願いします。

<事務局（黒見消防防災課長）>

ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

#### ・ 次回の開催予定について

<事務局（黒見消防防災課長）>

そうしましたら、上田会長、議事進行、大変ありがとうございました。

事務局から、次回の開催予定についてお知らせさせていただきます。

協議事項の消防ワーキンググループの開催についてのところでお話しさせていただきましたが、次回の協議会は2月頃の開催を予定しております。

その際には事務局から日程調整をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 8 閉会

<事務局（黒見消防防災課長）>

本日は、長時間にわたりましてご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

以上をもちまして第22回鳥取県救急搬送高度化推進協議会を終了いたします。

本日は大変ありがとうございました。委員の皆様はミーティングからのご退出をお願いいたします。